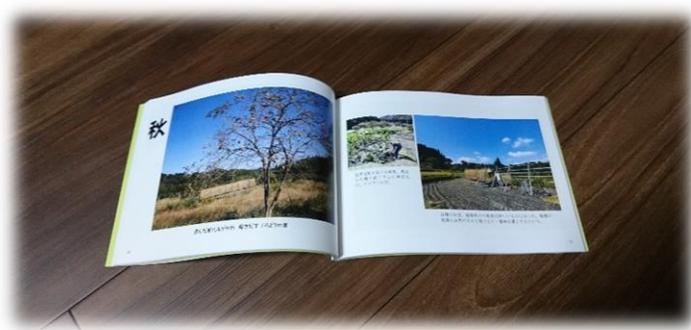


## 「掛川の生きものたちと風景」完成しました！



令和5年8月末「掛川の生きものたちと風景」が完成しました。一昨年から冊子の制作を開始し、どんな冊子にするのかなどを考え、ワークショップを3回行い、昨年冊子の形が見えてきました。そこから、写真などを集め、説明文を書いていく作業を進めて年末には形になりました。そこから、何度も何度も見直して、ようやく印刷できるまでになりました。

一度、試し印刷を試してみようということでも5冊作成し素敵な冊子に



なることを感じました。再び、見直しを何度も行い印刷に出し完成を待ちました。そして、8月末に出来上がってきました。出来上がった

冊子を早速、地域に皆さんに配付しました。今回の「掛川の生きものたちと風景」を別途ご希望の方は「やまびこ」挿入の用紙を使用しご注文下さい。

### 「掛川の生きものたちと風景」の作成にかかわって

富田 彪

冊子を作る話がもち上がったのは2年以上前のことでした。どんな本にするか、ワークショップや編集会議を重ね、ようやくこのたび発刊の運びとなりました。

基本構想がまとまり、生きものの解説と印刷原稿を作る作業を担わせてもらうことになりました。原稿づくりにおいて、提供された画像で足りなかった分の撮影、掲載したい生きものを限られた誌面に収めるための画像の選定、レイアウト、解説文作成などで1年ほどを費やしました。

これらの作業に楽しく集中する時間をもてたことは自分自身の脳の活性化にもつながり、いい機会を与えてもらえたと思っています。



## 困難だった冊子作り費用

水野友道

地域力の活動は、市からの活動推進補助金で行っています。

当初、市の担当課は「単に冊子作りの事業」という認識だったようで、冊子づくりに難色を示されていましたが、今回の冊子作りは単に冊子を発行するということではなく、掛川の自然を皆が理解するため、いろいろな資料をもちより、数回に渡るワークショップを開く中でその集大成としての「冊子づくり」ということを理解していただき、刊行できることになりました。

毎年交付される補助金の上限は 85 万円であり、その内約 25 万円を冊子作りの金額に充てることになりました。そのため、他の事業がその分圧縮されることになり、令和5年度の予算編成にあたって、全体の事業計画の策定や、予算案の策定には会計さんには大変ご苦労をかけました。

冊子づくりでは、少しでも安く、そして良い本を作ろうと色々な業者に見積を依頼し、結果は『ネット印刷』業者をお願いすることにしました。これは初めてのことであり、顔が見えない業者とのやり取りで不安がいっぱいでしたが、その出来栄は私たちの想像していた通りの、立派な冊子になりました。

「掛川の生きものたちと風景」の冊子が、両町の宝となることを願っています。



## 本づくりのーコマ

川井信一

7月21日丁度12時に宅配便が届いた。京都与謝郡の三景印刷からで、待っていた本の試作品5部だ。待望のものを、私一人で開封しては申し訳ない。さっそく小さなダンボール箱とハサミを持って、彪さん宅に走る。ハサミは、すぐその場で開けられるようにだ。まず表紙が目に入る。ウンウン、イメージ通りだ。一冊手に取ると思ったより重みを感じる。厚さ7ミリだ。彪さんも直接目にするまでは心配したと思うが、二人してまずはホッと安堵。

この試作の本を元にして、スタッフ4人で110ページの最終チェックをする。思いのほか修正箇所があった。例えば、同じ物の表記でも漢字とひらがながあったので、これはひらがなに統一するとか、カギカッコはやはり取った方がよいとかー。

もちろん皆、にわか校正者だが、慣れてくると細かい所まで目が届き、チェックが入る。完成前に、またまた彪さんのパソコン作業が増えてしまった。この暑いのにー。

## 定光寺直入橋付近の草刈りをしました！

令和5年7月15日(土)午前8時から定光寺直入橋の草刈りを行いました。今年の夏は、例年のない暑さでたいへんな中行われました。



## 親子環境整備作業行われる！

令和5年8月20日(日)掛川小学校で午前7時30分から親子環境整備作業が行われました。掛川小学校のまわりを中心に草刈り、草取り作業が行われました。掛川小学校の親子、掛川地域力向上委員会、地域の皆さんなどたくさんの方にご協力をいただきました。暑い中、ご苦労さまでした。



## やまびこ資料 かけがわっ子ひろば夏の様子 R5

かけがわっ子ひろばの子どもたちは毎日元気いっぱいです。  
夏休みは水遊びや室内遊び、イベントなどで楽しんでいます。



根気よくカプ  
ラを積み上げ  
てできた作品  
は...ご想像に  
お任せします



自由にいろん  
な文字を書い  
てみました。  
楽しい発見が  
いっぱい！



ボードゲームに  
集中！高嶺さん  
が毎回いろんな  
ゲームを持って  
きてくれるので  
楽しみです。低  
学年でも楽しく  
できるゲームも  
たくさんありま  
す。



大学生の佐藤さん  
がよく手伝って  
くれます。子ども  
たちにも大人気！

太鼓の練習では  
みんなで息を合  
わせて低学年も  
頑張っていま  
す！



## 掛川小学校の児童数確保に向けた取組について

### 掛川小学校の現状と課題

瀬戸市の小規模特認校制度が改正され、掛川小学校は令和6年度から市内のどこからでも入学、転入ができる学校になりました。（これまでは新入学時のみでした。）

児童数が一層減少（令和5年度：13人）するなか、PTAでは、適正な教育環境の維持や地域コミュニティにおける中核的な存在である小学校を存続させるため、地域や行政の皆様と連携・協力し、児童数の確保に向けて掛川小学校や掛川地区のPRを積極的に進めていきたいと考えています。

### 市役所シティプロモーション課に相談してきました！（以下、やり取りの概要です）

瀬戸市の魅力の一つ「里山」について、どのようなPRをしていますか？  
また、オオサンショウウオの観察会や自然探訪ウォーキングなど地域のイベントを広く周知することはできますか？



PTA



シティプロ  
モーション課

瀬戸市では、今年度はPR動画を制作する予定で、その中で「里山」を取り上げたいと考えています。地域のイベントは事前に情報提供いただければ当課で取材に伺ったり、報道各社に取材を後押しできるかもしれません。

瀬戸市への子育て世代の移住・定住促進に当たり、「教育環境」は重要なテーマですが、瀬戸市にはにじの丘学園のような小中一貫校やSOLAN小学校もあれば、掛川小のような小規模特認校もあり、そうした教育環境の「多様性」と、それらが選択できる「選択可能性」が両輪であることが瀬戸市の魅力だと思います。ぜひそうした視点でシティプロモーションを進めてください。



教育環境のPRにおいてにじの丘学園やSOLAN小学校は出せていますが、小規模特認校は出せていないので、そこは課題として考えていきます。

掛川小学校への転入増加というゴールの先に、掛川地区への移住定住というゴールがあると考えています。小学校に上がるタイミングで地域の空き家と点と点でマッチングするのは難しいですが、掛川小に通いながら地域と関係性を築き、通学する6年間の線上で良い空き家が点として現れてれば、マッチングの可能性は高くなります。その意味でも掛川小のPRは重要ですが、一方で「空き家が発生しても流通されていない」という別の課題も抱えています。



例えば、地域の空き家を未就学児がいる家庭に数日貸し出し、掛川での暮らしや学校との交流を体験してもらうのはどうでしょうか。それを地域が全面的に支援し、当課も移住のモデル事業としてプロモーションの視点で支援できれば、体験した家庭だけでなくメディアで取り上げてもらうことで市内外の人にPRできるのではないのでしょうか。

ありがとうございます。地域の皆さんとも共有します。



保護者から

# 里山環境整備を通して

昨年11月に「掛川小学校で遊ぼう」のイベントをPTAと地域の有志の方で開催しました。未就学児を対象に掛川小学校の魅力を知ってもらいたいという想いで、ウッドランド・神明の森・ビオトープの整備を行いました。整備を進めるにつれて見えてきたのは、倒木、朽ちた橋、人手が入ってない森でした。剪定する木、残す木に目印を付けて切る人、運ぶ人、多くの人力を合わせて整備していきました。作業を通じて、小学生から大人まで幅広い世代で交流が生まれました。そして、改めて掛川の自然の豊かさに気づかされた整備でした。今後もこの豊かな自然を守る持続可能な活動を行いたいと思っています。



また、今春より下半田川町から定光寺町までの古道の整備が行われ、歩くことができるようになりました。現在は下半田川町から定光寺町神明神社までの区間が整備されていますが、今後も継続的に整備していく必要があります。古道を散歩道として歩き、変わりゆく季節の風景を楽しんでみてください。森林浴をすると気持ちがいいです。これから作業を進めていく中で休憩場所として椅子や机が作れたら素敵だなと夢は膨らみます。この里山や古道が地域の皆様の憩いの場になればうれしく思います。

